

b. 那珂川の水源地域

那珂川は、三斗小屋宿跡(那須塩原市)周辺から峠沢，中ノ沢，御沢などの幾つかの沢水を集めて次第に水量を増しながら，ブナやミズナラの樹林帯を流れていく。水源地域は，太平洋側の気候下でありながら，日本海側の気候の影響が強く見られるところである。三斗小屋温泉から大峠にかけてのダケカンバ林では，ナナカマド，ハウチワカエデ，コシアブラなども見られる。林床には，エゾユズリハ，ヒメモチ，ヒロハツリバナなどの低木が見られる。チシマザサが優占する場所もある。ほかにタニウツギ(低木)，ミヤマイラクサ，スミレサイシン，オオタチツボスミレ，オオカニコウモリ，オニアザミなどの日本海要素の植物が見られる。



図 4-7 那珂川水源地域の沢(7月)



タニウツギ (スイカズラ科)
(写真：(株)日水コン)



ハウチワカエデ (カエデ科)
(写真：(株)日水コン)

図 4-8 那珂川水源地域の植物

ブナ，ミズナラ林が分布する沢筋には，サワグルミ，ケトチノキが生育し，両生類のハコネサンショウウオやタゴガエルが確認されている。爬虫類ではジムグリが多く確認されている。哺乳類ではヒミズ，ヒメネズミ，ニホンカモシカ，テン，ツキノワグマなどが生息する。鳥類では大型の猛禽類のクマタカが生息し，夏になると，ミソサザイやコマドリ，メボソムシクイ，オオルリなどのさえずりが聞こえる。

ブナ林に依存するヨシノキシタバヤ，ドロノキが食樹のオレクギリガ，溪流性のクロサナエヤ，マルガタシマチビゲンゴロウ，チャイロシマチビゲンゴロウ，スネアカヒメドロムシも確認されている。標高の高い場所の池沼では，分布が限られているメススジゲンゴロウも生息する。

氷河期の遺存種といわれ，東北地方に偏在するトワダカワゲラや，分布の東限・北限にあるミネトワダカワゲラも確認されている。



ニホンカモシカ (ウシ科)
(写真：栃木県立博物館)



オオルリ (ヒタキ科)
(写真：栃木県立博物館)



ツキノワグマの爪痕
(写真：『那須の自然』)



ハコネサンショウウオ (サンショウウオ科)
(写真：栃木県立博物館)



メススジゲンゴロウ (ゲンゴロウ科)
(写真：栃木県立博物館)



クロサナエ (サナエトンボ科)
(写真：栃木県立博物館)

図 4-9 那珂川水源地域の動物